

地域力向上事業

阿蘇山一周チャレンジキャンプ～大草原からの贈り物～

- [主催] 国立阿蘇青少年交流の家
- [後援] 熊本県教育委員会 阿蘇市教育委員会 高森町教育委員会
- [期 日] 令和元年8月5日(月)～8月10日(月) 【5泊6日】
※台風のため、8月6日(火)～8月10日(月)【4泊5日】開催となった。
- [活動場所] 国立阿蘇青少年交流の家、阿蘇市、南阿蘇村、高森町
- [参加者] 25名(中学3年生1名、2年生2名、1年生3名、小学6年生11名、5年生8名)
- [講師] 藤原 美里 氏 (食事指導)
藤岡 芳昂 氏 (キャンプファイヤー指導)
石田 洋昭 氏 (8月7日帯同看護師)
市川 冬樹 氏 (8月8日帯同看護師)
中村 恵子 氏 (8月9日帯同看護師)
甲斐 節子 氏 (8月9日帯同看護師)
桐原あゆみ 氏 (8月10日帯同看護師)
- [担当職員] 有木園和志(企画指導専門職) 花田 誠(事業推進室長)
内村 千春(事業推進係主任) 前田 夢依(事業推進係員)
山川 昇椰(事業補佐員)
堀澤亮太郎(事業支援室係員) 志賀 泰成(事業支援室主任)

1 趣 旨

自然環境に恵まれた「阿蘇」の大地をフィールドとした長距離ハイキング等を通して、同じ目的をもった仲間とともに困難に挑戦し、最後までやり遂げる力を育むとともに他者への思いやりや積極性などの自立的行動習慣を身につける。

2 目 標

- (1) 豊かな自然との触れ合いを通して、自然に対する畏敬の念や感動する心を育む。
- (2) 寝食を共にし、共同生活をする中で、集団生活におけるルールを学ばせ、自立する心や協力する心を育む。
- (3) 長距離ハイキングやサイクリングを通して、困難に挑戦し、最後までやり遂げる力を育む。

3 事業展開

研修プログラム

	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00				
8月6日 (火)												受付	班編成	乗車訓練	オリエンテーション	荷物移動	夕食	入浴	仲間づくり	ふり返り	就寝準備	就寝

	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	
8月7日 (水)	起床	朝食	荷物移動	出発準備 出発式	サイクリング (交流の家→農村公園あびか→どんどこ湯) (昼食)				自転車積込	入浴	バス移動 (南阿蘇百小へ)	荷物移動	テント設営	夕食	ふり返り	就寝準備	就寝		
8月8日 (木)	起床	朝食	テント撤収	荷物移動	ハイキング (南阿蘇西小) ↓ (久木野キャンプ場)			荷物移動	テント設営	昼食	仲間づくり	野外調理 (バエリアとスープ)		入浴	ふり返り	キャンプファイヤー	就寝準備	就寝	
8月9日 (金)	起床	朝食	テント撤収	荷物移動	バス移動	フォトウォークラリー (白水高原駅→明神池名水公園→白川水源→色見総合センター) (昼食)					荷物移動	テント設営	入浴	夕食	ふり返り	就寝準備	就寝		
8月10日 (土)	起床	朝食	テント撤収	荷物移動	バス移動	ハイキング (鍋の平キャンプ場→日ノ尾峠→交流の家) (昼食)			休憩	アンケート	閉会式								



サイクリング出発の様子



テント設営の様子



野外調理の様子



フォトウォークラリーの様子



お結び farm の手料理



ゴールの様子

4 成果と課題

(1) 成果

- ・ 事前説明会を実施することで、参加者や保護者の不安を緩和させることができた。
- ・ 昨年度課題であった栄養面を克服するために、野外調理の回数を減らし、最終日前日にお結び farm の手作り料理を食べ、南阿蘇の食材について話を聞く機会を設けたところ、手作りの料理のありがたさや食育について考える良い機会となった。
- ・ 台風のため1日半近くスケジュールが短くなったが、スタッフの連携により臨機応変にプログラムを変更して柔軟に対応することができた。

(2) 課題

- ・ スケジュール上、かなりゆとりを持たせた部分もあったため、最終日のさらなる感動を味わえるように、さらに過酷なプログラムを立てていく必要がある。
- ・ 物品の運搬が非常に大変だったため、ある程度運搬をスムーズにさせられるような計画立案も必要である。